

候補地現地確認における意見のまとめ

候補地 NO. 1 : 旭ヶ丘 10 丁目 6 の 27 (旧多目的広場計画地)

- ・ 進入路を拡幅する必要がある。
- ・ 付近に老人施設 3 箇所が存在していることは考慮すべき課題。さらに、1 施設の前を通過する必要があることがネック。
- ・ 建設しやすいといえばそのとおりかもしれないが、採掘場が周りに多くあり、殺伐とした印象が強い。現場地域のイメージがよろしくない。
- ・ 幹線道路からも入りにくい。
- ・ アクセスは良いと思うが、粘土採掘の跡地ということで、地盤調査に多額の費用を要するのではないかな。

候補地 NO. 2 : 旭ヶ丘 1 丁目 85 の 1 (旧日向牧場)

- ・ 都市計画道路の計画があるようだが、道路建設の時期と火葬場建設の時期は合うのか。現状では、開発に必要な重機類を搬入する道路が無い。
- ・ 付近に老人施設 2 箇所が存在していることは考慮すべき課題。
- ・ なぜ、第一種中高層住専地区なのか。
- ・ 現場を確認すると意外にアップダウンがあると感じる。ここにつくるとなると大規模な開発になるのではないかな。
- ・ 現状、道路が無いから建設は困難。
- ・ 他に良い場所が無ければ検討しても良いのではないかな。

候補地 NO. 3 : 下沢町 3 丁目 24 の 1

- ・ 比較的緩やかな傾斜であること、県道沿いであることから、民家を避けて進入道を確保できれば周辺環境に与える影響を最小限に納めることができ可能性はある。
- ・ 県道の交通量も比較的多く、霊柩車が通ることに反対意見がないのではないかな。
- ・ 実現可能な候補地のひとつとなりえる。

候補地 NO. 5 : 高田町岩曾根 22 の 1 (旧射撃場)

- ・ 候補地内に 3 箇所程度平場があるが、真中の場所が良いのではないかな。射撃場跡地ということで鉛の処理をきっちり行うことが重要。例えば表土を除去して、浸出水については、調整池を設置して監視するなどを行うべき。
- ・ アクセスは良いのではないかな。
- ・ 現場までの道が長い斜面となっていることと、途中、集落を通過することが課題。
- ・ 岩盤が剥き出しのところがあるが、その強度に不安を感じる。また、真中の場所についても斜面補強は必要。

候補地 NO. 8 : 三の倉町猪場 1 の 1 (市焼却場隣地)

- ・ 一帯は、地球村や遊歩道、公民館や炭焼き施設が整備されている自然環境教育地であることや、希少種であるシデコブシ群生地も含まれている。
- ・ 民間最終処分場や市焼却施設などいわゆる迷惑施設が集中しており、あえてここに火葬場を建設することは、市域全体のバランスから考えると不公平感は否めない。
- ・ 技術上は可能であるが、実現可能な候補地とは言えない。

候補地 NO. 9 : 三の倉町猪場 37 (地球村隣接地)

- ・ 候補地内に、地球村や遊歩道が整備されている自然環境教育地。
- ・ 民間最終処分場や市焼却施設などいわゆる迷惑施設が集中しており、あえてここに火葬場を建設することは、市域全体のバランスから考えると不公平感は否めない。
- ・ 技術上は可能であるが、実現可能な候補地とは言えない。

候補地 NO. 10 : 大沢町 1 丁目 10 (碎石場隣地)

- ・ 平地を確保するための造成作業に多額の経費を要する。
- ・ 稼動中の碎石場に隣接しており、火葬場を設置する環境として良いとは言えない。
- ・ 実現可能な候補地とは言えない。

候補地 NO. 11 : 滝呂町 14 丁目 144 の 1 (滝呂小学校下手山林)

- ・ 土石流危険渓流や砂防指定地が含まれるなど傾斜地であり、好ましくないのではないかと。
- ・ 山林下手からの進入路は狭く、山林上手は、大規模住宅団地のなかを通過することとなりアクセスがよろしくない。
- ・ 滝呂球場と運動公園で可能な平場を使い尽くしている感じであり、これ以上の平場の確保は困難ではないかと。
- ・ 程よい山林であるため、火葬場が存在する場合、イメージ的には悪くないが、そこへのアクセスがよろしくない。
- ・ 小学校の通学路を含んでいないか (要確認)。

候補地 NO. 16 : 東町 2 丁目 50

- ・ 下手にあたる住宅地 (生田) や対面にあたる住宅地 (美坂・坂上) から望む山並みの一画をカットする構図となり、景観に配慮する必要がある。
- ・ 隣接する神社の上部にあたる場所にあえて火葬場を建設することが良いといえるか。
- ・ アクセス道は上部 (セラミックパーク美濃側) からが望ましいが、地形上、道路が建設には多額の費用が必要となる。
- ・ 実現可能な候補地とは言えない。

候補地 NO. 17 : 脇之島町 3 丁目 24 の 1 (248 南バ イ スラフ 隣地)

- ・ 取り付け道路の設置が困難。
- ・ バイパスを設置した時点で、周囲を含めた道路線形は決まっているものであり、当該土地に将来何かを建設する前提とはなっていないのではないかと。
- ・ 実現可能な候補地とは言えない。

候補地 NO. 18 : 脇之島町 8 丁目 3 の 1 (杵臼の月見側斜面)

- ・ 見るからに急傾斜地。
- ・ 砂防施設が含まれており開発は現実的では無い。
- ・ 道路からの傾斜が少ない沢の利用が考えられるものの、埋立後の安定性や埋め立てによる沢上部に与える影響を考えると建設は望ましくない。

候補地 NO. 23 : 笠原町下原 1264 の 1 (戦没者慰霊塔下手)

- ・急傾斜地というよりは「がけ」という印象であり、造成に多額の費用を要することが推察され、開発に不適であると感じられる。
- ・進入路の確保が困難。
- ・建築という観点からのみ言えば、斜面地に建築することから斬新な火葬場建設となるため特徴的な施設になると想像できる。しかし、慰霊塔の下手に火葬場が存在することが適切かどうかを検討する必要がある。

候補地 NO. 24 : 笠原町森下 1647 の 1 (旧し尿処理場)

- ・アクセスが非常に良い。
- ・既設施設の撤去が必要だが、今の状況のまま放置するべきでもない。
- ・周辺住民に対する説得と土岐市に対する対応が大切だが、し尿処理施設と比較すると、最近の火葬場は、臭気等の公害が無いことを説明し理解していただくことが重要。
- ・周囲に民家はあるものの、最新の火葬場が整備されることにより、現状（し尿処理場の残骸が残る状況）よりは良い方向に進むのではないかと。

候補地 NO. 28 の 1 : 笠原町梅平 4024 の 1

- ・基本的に梅平団地を造成したときの造成残地であり、大規模住宅地の眼下となる場所。
- ・総面積は 5 万㎡程度あるものの、急傾斜地であることや細長い土地であることから、必要な平場の確保が困難。

候補地 NO. 29 : 笠原町梅平 3986 の 1

- ・奥行が狭すぎるし、背後の河川との高低差が大きいため、十分な平場が確保できず使いづらい。
- ・埋立地であるような感じだが（要確認）。
- ・工業地であり、大きな工場の中心部に火葬場を造るイメージとなる。この場所には火葬場よりも他の的確な土地利用があるのではないかと。
- ・道路状況は良いが、反面、幹線道路からいきなり火葬場というイメージには違和感がある。

候補地 NO. 32 : 笠原町梅平 4106 の 58 (製陶会社奥)

- ・進入道路整備や湧水対策といった周辺整備に莫大な費用が必要となるのではないかと。
- ・現実的ではない。
- ・候補地の上流域に池がある。下手の農業用水上問題があり、手をつけるべきではないだろう。
- ・一見広いように見えるが、斜面地であり十分な平場が確保できるとは思えない。

候補地 NO. 33 : 笠原町天王下 4114 の 2

- ・進入道の確保が困難。
- ・住宅地から見下ろせる位置関係となることと、比較的大きな住宅地から 200 メートル弱（直線距離）しか離れていないため、住民の心理面に影響するのではないかと。
- ・砂防指定地であるため造成は困難。
- ・十分な平場を確保するためには、かなりの切り土（造成）を行う必要がありその残土処理が問題となるのではないかと。